

令和3年12月7日
九州歯科大学

歯周病検診がもたらす医科健診事業における新たな潮流 －北九州からの発信－

歯周病は糖尿病や心臓疾患など全身の病気に影響し早期の発見が重要とされていますが、手軽な検査方法が無いため、歯科検診の低受診率が国民的課題でした。

こういう社会的ニーズを背景に、九州歯科大学は「舌ぬぐい液による迅速歯周病検診」の実用化を目指して産学共同で基礎研究を続けて来ましたが、一昨年より北九州市内でスタートした実証試験で有効性が証明され、このたび商品化に成功致しました。

（製造会社は大分県宇佐市の（株）アドテック、商品名は「アドチェック」）

この過程に於いて、特に北九州病院グループの1000名以上の職員に実施したアドチェック検診と、北九州病院グループ・西日本産業衛生会がこのプロジェクトに参画したことが実用化の決め手になり、その学術成果は PLOS ONE という著名なオンライン英文誌に採択されております。

今回、北九州病院グループ・西日本産業衛生会に於ける本格的な「歯周病検診事業のキックオフ」に際して、九州歯科大学、北九州商工会議所が連携し、合計6000名以上の職員を対象にした大規模なアドチェック検診が決定されました。これは北九州より打ち出す「企業健診に歯周病検診を標準的に組み込むモデル」の先行事例となり、今後全国に向けて、歯科検診受診率の向上に弾みをつけるものと期待しております。

九州歯科大学はこの活動を更に発展させ、歯周病重症化予防の決め手となる「国民皆歯科健診」の実現に注力します。このため、新たに、（同）H.U.グループ中央研究所（東京都八王子市）や市内の急性期病院・療養期病院と連携し、革新的コンセプトとしての

「（＊）オーラルヘルスリテラシー」を構築すべく、医歯工連携で緻密な調査研究を進める所存です。

以上の活動を総括しますと、健診事業をもって社会貢献する組織（北九州病院グループ・西日本産業衛生会）、北九州市内の中小を含めた会社の福利厚生を通じて貢献する組織（北九州商工会議所）、歯周病検診を通じて全身の健康増進を推進し、健康

長寿を目指す活動を展開する組織（九州歯科大学）の3者が一体となり、今後の歯周病検診の普及に向け、厚労省を始めとした関連行政機関とタイムリーに協調しながら新機軸を打ち出していくことが最重要ポイントとなります。

この組織体制を基盤に推進すると、我が国で初めて、医科歯科連携のもとでの大規模な産学連携医療健診を展開するスキームが可能となります。その基本コンセプトは「アドチェックによる歯周病検診の標準化」ですが、この成功事例を北九州から発信し、全国展開においてはH.U. ウェルネス（株）（東京都新宿区）を販売パートナーとして、標記の狙いを完遂することを目指します。

（＊）オーラルヘルスリテラシーとは、

一般的に、ヘルスリテラシーは、「健康情報を入手し、理解し、評価し、活用するための知識、意欲、能力であり、それによって、日常生活におけるヘルスケア、疾病予防、ヘルスプロモーションについて判断したり意思決定をしたりして、生涯を通じて生活の質を維持・向上させることができるもの」とされていますが、口の中の健康情報については、デジタル化に適した客観的に数値化可能な検査がありませんでした。

今回の事業提案は、歯周病の病態を簡便かつ正確に評価できる「アドチェック」をもって得られた数値を日常生活のなかで把握できるだけでなく、生活習慣病等との関連も把握できるということで、新たに、「オーラルヘルスリテラシー」の概念を提唱しています。